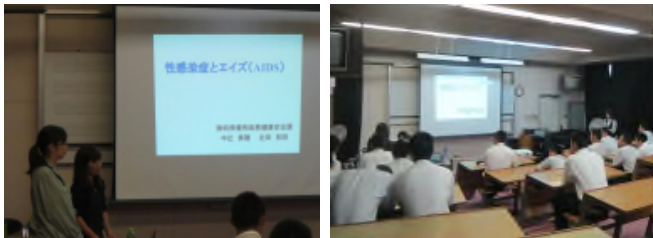


思春期講座

10月3日(木) 御坊保健所から2人の講師を招いて「性感染症とエイズ」をテーマに思春期講座を行いました。高校時代は第二次性徴を迎え、身体的にも大きく発達してゆく時期でもあり、「自我の目覚め」「第二の自己の誕生」とも言われます。社会的に自分自身であるという自信を持ち始めながら「同一化」から「同一性」へと進み、自己価値を見いだしていく大切な時期と考えられています。愛し愛されることの尊さは理解できても、心と体の発達のアンバランスの中で思い悩むことも多いと思います。愛するためには、愛するだけの力が必要です。精神的自立、生活上の自立、経済的自立、性的自立についてしっかり考えましょう。



研究授業で授業改善の研修

10月6日(木)今年度2回目の研究授業を国語科で行いました。1年生のクラスで「羅生門」を題材に、「知識理解」と「思考判断」を評価の観点として、工夫されたワークシートを使ってグループワークで学びを深めました。また、10年経験者研修とのタイアップで事前検討、事後検討についても丁寧に行いました。この日は教員の成長過程について継続的に研究している大学教授も来校し、授業参観、授業者へのインタビューも行われました。事後検討会では、付箋や模造紙を使ってカード法で進め、授業場面を写真で確認したり、大学教授からの助言や感想を参考にしたりすることで、授業分析を深めることができました。



教育実習で先輩頑張る!

10月19日(水)から11月1日(火)の日程で教育実習生として夏見宏季さんが母校に帰ってきました。夏見さんは高校時代に野球部で主将を務め、現在、関西国際大学硬式野球部で活躍しています。実習期間中は1年生の公民の時間を中心に授業をしたり、他の教科の参観をしたりするとともに、放課後にはクラブの練習にも参加しました。生徒諸君、良き先輩に続け!



防災学習とロングハイキング

10月21日(金)、湯浅町から広川町まで約4.6kmを歩きました。湯浅町内は熊野古道を進み、稲むらの火の館で津波について学習し、語り部の方々の説明聞き、広川わんぱく公園で昼食をとり、広川ビーチ駅をめざしました。秋のさわやかな風に潮の香りが混じり、町中から田園へと歩を進めながら、予定通りに無事終了しました。新たな一面を発見したり親交を深めたりするとともに、事前事後の学習と健康管理の大切さを再認識する機会になりました。



(湯浅町観光駐車場を出発)

(熊野古道も通りました)



(稲むらの火の館到着)

(津波防災教育センター)



(語り部さんからの説明)

(ゴールの広川ビーチ駅)

11月の予定

- 11月 2日(水) 避難訓練、防災スクール
- 11月 3日(木) 文化の日
- 11月 4日(金) 津波防災避難訓練
- 11月 5日(土) 津波防災の日
- 11月 8日(火) 献血
- 11月 18日(金) 学校祭
- 11月 23日(水) 勤労感謝の日